

京都府あけぼの賞表彰式

「京都府あけぼの賞」は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造に向けて、女性の一層の能力発揮を図るため、各分野での功績が著しい女性に京都府知事が授与するものです。今年度は5名の個人と1団体の方々が受賞されました。

また、平成元年度に創設しました「京都府あけぼの賞」が35回目を迎えることを記念して、「京都府あけぼの賞 特別賞」を設けました。男女共同参画の推進その他の分野において、長年にわたる活躍や業績等で顕著な功績が認められる1名の個人と1団体の方々が受賞されました。



京都府あけぼの賞表彰式

AKEBONO Award Ceremony



令和5年度

京都府あけぼの賞 35回記念特別賞 受賞者



京都華頂大学教授、日本女性腎臓病医の会代表世話人

むそう えり
武曾 恵理さん

大阪の基幹病院で男女共同参画委員会を立ち上げ、所属する日本腎臓学会においても男女共同参画委員会初代委員長として、専門医制度の改革等女性医師のキャリアアップ支援等に大きく貢献。今年、日本女医会吉岡彌生賞を受賞



障害者支援施設等の運営

しゃ かい ふく し ほう じん あお だに がく えん
社会福祉法人 青谷学園

女性管理職割合が54.6%、育休取得率が男女とも100%を達成するなど、女性活躍や、仕事と子育ての両立支援を積極的に推進し、国の認定制度である「プラチナえるぼし」と「プラチナくるみん」を、府内では初めて、全国でも2例目となる同時認定を受ける

令和5年度
京都府あけぼの賞 受賞者



フローラ
Flora株式会社 代表取締役 CEO・創業者

アンナ・クレシェンコさん

京都大学在学中にFlora株式会社を創業。女性一人ひとりに合ったココロやカラダに寄り添うケアを提供するビジネスモデルで「京都府女性起業家賞」を受賞



落語家

かつら に よう
桂 二葉さん

「女性に落語は難しい」という風潮を打ち破り、女性で初めて、「NHK新人落語大賞」や「繁昌亭大賞」を受賞。女性活躍推進のロールモデルとして大きく貢献



プロテニス選手

かとう みゆ
加藤 未唯さん

体格の大きく異なる世界の強豪選手を相手に、今年のテニス全仏オープン混合ダブルスで優勝。ジュニアスポーツの振興のための寄付も行うなど社会貢献に寄与



脚本家

くわはら りょうこ
桑原 亮子さん

聴覚障害を乗り越え、歌人・脚本家として活躍。女性たちが活躍する世界を描いた、NHK連続テレビ小説『舞いあがれ!』でメイン脚本家を務め、視聴者を魅了



小説家

ちはや あかね
千早 茜さん

心の機微を鮮やかに描いた長編時代小説『しろがねの葉』が高い評価を受け、今年、第168回直木賞を受賞。文化芸術部門において多大な貢献

撮影:新潮社写真部



地元食材による特産品開発、高齢者の移動支援等の活動

う かわ か こう しょ
宇川加工所

移動販売事業者の誘致や自治会等と連携した手作りマーケット「宇川金曜日」の運営、高齢者の移動支援等多様な活動を展開し、地域活性化に大きく貢献